

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 秋川牧園

コード番号 1380 URL <http://www.akikawabokuen.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋川 正

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長

(氏名) 原田 良人

TEL 083-929-0630

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,250	6.8	△29	—	△33	—	△42	—
26年3月期第2四半期	2,107	2.7	△50	—	△31	—	△37	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △39百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 △36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△10.10	—
26年3月期第2四半期	△8.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第2四半期	3,969	—	1,271	—	32.0	304.78
26年3月期	3,972	—	1,323	—	33.3	317.24

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,271百万円 26年3月期 1,323百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	4,696	3.1	74	—	60	71.7	25	40.7	5.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	4,179,000 株	26年3月期	4,179,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	7,510 株	26年3月期	5,638 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	4,172,858 株	26年3月期2Q	4,173,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策等の効果により、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、消費税増税の反動や天候不順の影響による個人消費の伸び悩みや、急速な円安による輸入価格の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、原材料価格の高騰や消費税増税に伴う反動減などの影響がありましたが、輸入食品の信頼性に対する不安や健康意識の高まりもあり、消費者の食の安心・安全に対する関心は再び高まりつつあります。

このような状況の中、当社の主たる販売先である産直型の生活協同組合及び宅配会社に対する主力の鶏肉及び冷凍加工食品の販売が前年同期と比べ好調に推移し、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、鶏肉及び冷凍加工食品の売上増加や、鶏肉パック工場の生産性向上等の増益要因がありましたが、飼料を中心とする原材料価格の高騰や、飼料価格安定基金及び卵価安定基金からの補填金収入(営業外収益で計上)が前期と比べて減少したことにより経常利益では微減となりました。

※「飼料価格安定基金制度」とは、生産者と配合飼料会社と国の三者が基金に積み立てを行い、飼料高騰時に生産者へ補填を行うものです。

※「卵価安定基金制度」とは、生産者と国が基金に積み立てを行い、卵価低迷時に生産者へ補填を行うものです。

なお、当社グループの売上は、鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向があり、当期につきましてもその形で推移するものと見込んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、22億50百万円(前年同期比6.8%増)、営業損失は29百万円(前年同期は50百万円の損失)、経常損失は33百万円(前年同期は31百万円の損失)、四半期純損失は42百万円(前年同期は37百万円の純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(生産卸売事業)

主に産直型の生活協同組合及び宅配会社へ販売している鶏肉、冷凍加工食品、鶏卵、牛乳等で構成される生産卸売事業につきましては、主力の鶏肉及び冷凍加工食品を中心に、販売が前年同期を上回ったため、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、飼料価格の高騰の影響があったものの、売上高の増加や、鶏肉パック工場の生産性向上等により増益となりました。

この結果、生産卸売事業の売上高は、18億94百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は1億5百万円(前年同期比41.2%増)となりました。

(直販事業)

当社の食品を中心に会員宅に商品をお届けする直販事業につきましては、消費税増税に伴う需要の反動減等ありましたが、全国向けの宅配の会員数が首都圏を中心に伸長したことにより、売上高は増加いたしました。利益面につきましては、運賃やシステム開発費用等の販売費及び一般管理費の増加により前年並みとなりました。

この結果、直販事業の売上高は、3億55百万円(前年同期比3.3%増)、営業損失は0.6百万円(前年同期は0.2百万円の利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、3百万円減少し、39億69百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億89百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、26億97百万円となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ52百万円減少し、12億71百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,834	749,139
受取手形及び売掛金	546,192	538,822
有価証券	20,470	20,473
商品及び製品	64,103	119,009
仕掛品	195,106	198,288
原材料及び貯蔵品	67,272	67,208
繰延税金資産	18,126	17,432
未収入金	171,962	164,216
その他	29,607	27,289
貸倒引当金	△1,170	△1,581
流動資産合計	2,050,505	1,900,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	608,147	629,179
機械装置及び運搬具(純額)	220,604	240,744
土地	802,401	880,022
建設仮勘定	30,293	56,517
その他(純額)	101,784	94,238
有形固定資産合計	1,763,231	1,900,703
無形固定資産		
のれん	51,321	44,662
その他	12,367	28,168
無形固定資産合計	63,688	72,831
投資その他の資産	95,258	95,237
固定資産合計	1,922,179	2,068,771
資産合計	3,972,685	3,969,070
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	403,882	439,713
短期借入金	1,005,075	1,093,366
リース債務	12,263	12,204
未払法人税等	14,278	10,318
賞与引当金	20,303	40,683
その他	247,933	266,308
流動負債合計	1,703,736	1,862,593
固定負債		
長期借入金	626,482	526,310
リース債務	32,225	30,986

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
繰延税金負債	21,828	22,862
退職給付に係る負債	212,227	210,968
役員退職慰労引当金	52,201	43,938
固定負債合計	944,964	835,066
負債合計	2,648,701	2,697,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,150	714,150
資本剰余金	554,541	554,541
利益剰余金	52,174	△2,523
自己株式	△3,573	△4,381
株主資本合計	1,317,292	1,261,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,691	9,624
その他の包括利益累計額合計	6,691	9,624
純資産合計	1,323,984	1,271,411
負債純資産合計	3,972,685	3,969,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,107,907	2,250,533
売上原価	1,688,173	1,783,278
売上総利益	419,734	467,255
販売費及び一般管理費	469,934	496,752
営業損失(△)	△50,200	△29,497
営業外収益		
受取利息	824	301
受取配当金	753	789
補填金収入	22,946	487
その他	3,624	2,380
営業外収益合計	28,148	3,958
営業外費用		
支払利息	9,855	8,325
その他	52	41
営業外費用合計	9,907	8,367
経常損失(△)	△31,959	△33,906
特別利益		
固定資産売却益	1,027	1,527
受取保険金	480	—
補助金収入	1,677	4,500
特別利益合計	3,185	6,027
特別損失		
固定資産売却損	370	290
固定資産除却損	835	1,195
固定資産圧縮損	1,677	4,500
特別損失合計	2,883	5,985
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,657	△33,864
法人税、住民税及び事業税	7,914	8,338
法人税等調整額	△2,393	△24
法人税等合計	5,520	8,313
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,178	△42,177
四半期純損失(△)	△37,178	△42,177

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△37,178	△42,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	963	2,932
その他の包括利益合計	963	2,932
四半期包括利益	△36,214	△39,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,214	△39,244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,657	△33,864
減価償却費	123,737	130,571
のれん償却額	6,659	6,659
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△95	419
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,377	20,379
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,841	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△1,258
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,410	△8,263
受取利息及び受取配当金	△1,577	△1,090
支払利息	9,855	8,325
有形固定資産売却損益(△は益)	△657	△1,237
有形固定資産除却損	835	1,195
売上債権の増減額(△は増加)	925	7,369
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,542	△57,971
未収入金の増減額(△は増加)	△11,360	7,745
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,277	35,831
補助金収入	△1,677	△4,500
固定資産圧縮損	1,677	4,500
その他	△18,165	△13,485
小計	99,571	101,325
利息及び配当金の受取額	1,577	1,090
利息の支払額	△10,218	△8,295
補助金の受取額	1,677	4,500
法人税等の支払額	△7,668	△9,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	84,939	89,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△106,915	△236,663
有形固定資産の売却による収入	2,633	2,525
有形固定資産の除却による支出	△49	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	50,000	—
貸付けによる支出	△8,506	△1,440
貸付金の回収による収入	3,934	5,253
ソフトウェアの取得による支出	△441	△18,356
差入保証金の回収による収入	110	—
その他	△6,866	1,033
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,100	△247,647

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130,000	100,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△128,456	△111,881
配当金の支払額	△12,322	△12,448
自己株式の取得による支出	—	△808
その他	△7,385	△6,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,164	△31,635
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△159,325	△189,690
現金及び現金同等物の期首残高	731,706	959,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	572,381	769,613

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	1,763,571	344,336	2,107,907
セグメント間の内部売上高 又は振替高	83,242	1,337	84,580
計	1,846,814	345,673	2,192,487
セグメント利益又は損失 (△)	74,966	227	75,193

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	75,193
のれんの償却額	△6,659
全社費用(注)	△118,734
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△50,200

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	生産卸売	直販	
売上高			
外部顧客への売上高	1,894,715	355,817	2,250,533
セグメント間の内部売上高 又は振替高	85,641	1,143	86,784
計	1,980,357	356,960	2,337,318
セグメント利益又は損失 (△)	105,887	△668	105,218

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	105,218
のれんの償却額	△6,659
全社費用(注)	△128,057
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△29,497

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び品質管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループのセグメントは、従来「産直畜産事業」、「牛乳製造卸売事業」、「総合宅配事業」の3つの報告セグメントと「その他」に区分しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「生産卸売事業」と「直販事業」の2つの報告セグメントに変更しております。

これは、中長期経営方針の策定にあたり、管理区分を見直し、これまで個別に管理していた「産直畜産事業」、「牛乳製造卸売事業」、「その他」の事業を「生産卸売事業」として一体管理すること及びグループ全体としての事業の位置づけをより適切に表示するため、「総合宅配事業」を「直販事業」に名称変更したことに伴うものであります。

なお、前第2四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。